

令和 6 年 度

病 院 事 業 会 計 決 算 概 況

病 院 局

1 令和6年度病院事業会計決算概況

○ 業務状況

市立3病院では、市の基幹病院又は地域の中核病院として、公共の福祉の増進と経済性の発揮を基本としながら、高度・特殊・急性期医療や救急医療等を継続的かつ安定的に提供しています。また、「川崎市立病院中期経営計画 2024-2027」に基づき、公立病院として地域に必要な医療を安定的かつ継続的に提供し、更なる経営改革と経営健全化を図りながら、災害、研修教育等の対応を含めた医療行政施策を推進し、地域医療機関との連携を進めるなど、本市の医療水準の向上に寄与できるよう取り組んでいます。

人口減少や少子高齢化の急速な進展により、持続可能な地域医療提供体制を確保することが地域において一層重要な課題となっている一方、病院の経営は、収入の根幹である診療報酬が物価高騰や人件費上昇に見合ったものになっていない中でも、コロナ禍後の社会変容による医療需要の変化、医療提供主体の病院から地域診療所や在宅への移行という受療動向の変化、医療の高度化といった病院経営に係る環境の急激な変化等への対応が求められるなど、非常に厳しい状況にあります。また、医師の働き方改革や、医療従事者の確保、情報セキュリティの強化等、様々な課題への対応も求められています。

川崎病院においては、高度・特殊・急性期医療、救命救急医療を中心に、小児から成人・高齢者・妊産婦等への医療や、精神科救急医療などを提供しています。また、増加する救急搬送やがん等の医療需要に対する医療機能の拡充や防災機能の強化等を目的とする川崎病院医療機能再編整備については、令和5年11月に着手した救命救急センター棟の新築工事を引き続き進めているところです。

井田病院においては、増大するがん等の成人疾患医療、救急医療、結核医療、緩和ケア医療等を提供しているほか、災害拠点病院としての役割を担っています。また、在宅療養後方支援病院として、地域の在宅医をサポートする取組を進めるとともに、地域医療支援病院として、地域医療連携の取組を進めています。

多摩病院においては、小児救急を含めた救急医療を中心に、高度・特殊・急性期医療、アレルギー疾患医療等の一般診療を提供しているほか、災害拠点病院としての役割を担っています。また、地域医療支援病院として引き続き地域の医療機関との連携に努めるなど、北部地域の中核病院としての役割を果たしています。なお、本病院は指定管理者制度を採用し、学校法人聖マリアンナ医科大学が運営管理を行っています。

○ 収支状況

病院事業全体では病院事業収益は 373 億 2,886 万 3,637 円、病院事業費用は 404 億 4,308 万 1,618 円となり、この結果、経常損益は 32 億 9,518 万 1,434 円の経常損失、純損益は 31 億 1,421 万 7,981 円の純損失となりました。

直営の川崎病院・井田病院(以下「直営 2 病院」という。)の病院事業収益は 351 億 4,768 万 9,362 円、病院事業費用は 390 億 6,694 万 8,500 円となり、経常損益は 37 億 4,233 万 5,172 円の経常損失、純損益は 39 億 1,925 万 9,138 円の純損失となりました。

指定管理者制度(利用料金制)のもとで運営されている多摩病院に関する病院事業収益は 21 億 8,117 万 4,275 円、病院事業費用は 13 億 7,613 万 3,118 円となり、経常損益では 4 億 4,715 万 3,738 円の経常利益、純損益では 8 億 504 万 1,157 円の純利益となりました。

○ 患者状況

入院患者は直営2病院では延 27 万 8,585 人(1 日平均 763 人)で、前年度に比べ 1 万 1,166 人の増となりました。多摩病院では延 10 万 8,790 人(1 日平均 298 人)で、前年度に比べ 8,767 人の増となりました。

外来患者は直営2病院では延 42 万 2,708 人(1 日平均 1,740 人)で、前年度に比べ 1 万 7,636 人の減となりました。多摩病院では延 21 万 2,605 人(1 日平均 790 人)で、前年度に比べ 1 万 4,474 人の増となりました。

○ 診療収益状況

入院収益は、直営 2 病院では 195 億 6,079 万 2,932 円で、前年度に比べ 10 億 409 万 5,687 円の増となりました。

外来収益は、直営 2 病院では 87 億 9,010 万 1,941 円で、前年度に比べ 2,194 万 5,677 円の減となりました。

なお、多摩病院については、指定管理者制度を採用し、学校法人聖マリアンナ医科大学が運営管理を行っています。平成 24 年度からは利用料金制をとっております。

○ 主な建設改良

川崎病院では、救命救急センター棟新築工事のほか、照明設備改修工事等を実施しました。井田病院では、ナースコール設備改修工事を実施しました。

また、医療器械については、川崎病院と井田病院で、内視鏡下手術支援ロボット装置の更新等を行いました。

2 経 営 成 績

(令和6年度決算)

(税抜き)

(単位:円)

◎ 病院事業合計

科 目	金 額
総 費 用	40,443,081,618
医 業 費 用	38,101,846,554
医 業 外 費 用	2,038,927,754
特 別 損 失	302,307,310
当 年 度 経 常 利 益	
当 年 度 純 利 益	
前年度繰越利益剰余金	
当年度未処分利益剰余金	

科 目	金 額
総 収 益	37,328,863,637
医 業 収 益	31,430,521,651
医 業 外 収 益	5,415,071,223
特 別 利 益	483,270,763
当 年 度 経 常 損 失	3,295,181,434
当 年 度 純 損 失	3,114,217,981
前年度繰越欠損金	16,330,684,273
当年度未処理欠損金	19,444,902,254

(直営2病院の内訳)

川 崎 病 院

(税抜き)

(単位:円)

科 目	金 額
総 費 用	26,897,346,595
医 業 費 用	25,384,159,886
医 業 外 費 用	1,251,359,046
特 別 損 失	261,827,663
当 年 度 経 常 利 益	
当 年 度 純 利 益	
前年度繰越利益剰余金	4,124,775,033
当年度未処分利益剰余金	2,048,226,284

科 目	金 額
総 収 益	24,820,797,846
医 業 収 益	22,054,903,525
医 業 外 収 益	2,722,207,220
特 別 利 益	43,687,101
当 年 度 経 常 損 失	1,858,408,187
当 年 度 純 損 失	2,076,548,749
前年度繰越欠損金	
当年度未処理欠損金	

(1) 直営2病院(川崎病院・井田病院)計

科 目	金 額
総 費 用	39,066,948,500
医 業 費 用	36,962,306,406
医 業 外 費 用	1,816,487,967
特 別 損 失	288,154,127
当 年 度 経 常 利 益	
当 年 度 純 利 益	
前年度繰越利益剰余金	
当年度未処分利益剰余金	

科 目	金 額
総 収 益	35,147,689,362
医 業 収 益	30,326,567,360
医 業 外 収 益	4,709,891,841
特 別 利 益	111,230,161
当 年 度 経 常 損 失	3,742,335,172
当 年 度 純 損 失	3,919,259,138
前年度繰越欠損金	15,097,637,495
当年度未処理欠損金	19,016,896,633

井 田 病 院

科 目	金 額
総 費 用	12,169,601,905
医 業 費 用	11,578,146,520
医 業 外 費 用	565,128,921
特 別 損 失	26,326,464
当 年 度 経 常 利 益	
当 年 度 純 利 益	
前年度繰越利益剰余金	
当年度未処分利益剰余金	

科 目	金 額
総 収 益	10,326,891,516
医 業 収 益	8,271,663,835
医 業 外 収 益	1,987,684,621
特 別 利 益	67,543,060
当 年 度 経 常 損 失	1,883,926,985
当 年 度 純 損 失	1,842,710,389
前年度繰越欠損金	19,222,412,528
当年度未処理欠損金	21,065,122,917

(2) 多 摩 病 院 【指定管理者制度(利用料金制)のもとで運営】

科 目	金 額
総 費 用	1,376,133,118
医 業 費 用	1,139,540,148
医 業 外 費 用	222,439,787
特 別 損 失	14,153,183
当 年 度 経 常 利 益	447,153,738
当 年 度 純 利 益	805,041,157
前年度繰越利益剰余金	
当年度未処分利益剰余金	

科 目	金 額
総 収 益	2,181,174,275
医 業 収 益	1,103,954,291
医 業 外 収 益	705,179,382
特 別 利 益	372,040,602
当 年 度 経 常 損 失	
当 年 度 純 損 失	
前年度繰越欠損金	1,233,046,778
当年度未処理欠損金	428,005,621

3 業 務 実 績

(令和6年度決算)

◎ 直営2病院(川崎病院・井田病院)計

区 分	令和5年度	令和6年度	増 減
(1) 患者延数	707,763 人	701,293 人	△ 6,470 人
入 院	267,419	278,585	11,166
外 来	440,344	422,708	△ 17,636
(2) 1日平均患者数	2,543 人	2,503 人	△ 40 人
入 院	731	763	32
外 来	1,812	1,740	△ 72
(3) 診療収益	27,368,745 千円	28,350,894 千円	982,149 千円
入 院	18,556,697	19,560,792	1,004,095
外 来	8,812,048	8,790,102	△ 21,946
(4) 1人1日平均収益	38,669 円	40,427 円	1,758 円
入 院	69,392	70,215	823
外 来	20,012	20,795	783
(5) 入院患者実人数	19,858 人	20,359 人	501 人
(6) 1人平均入院日数	13.5 日	13.7 日	0.2 日

(直営2病院の内訳)

川 崎 病 院

区 分	令和5年度	令和6年度	増 減
(1) 患者延数	470,450 人	470,001 人	△ 449 人
入 院	170,090	175,617	5,527
外 来	300,360	294,384	△ 5,976
(2) 1日平均患者数	1,701 人	1,693 人	△ 8 人
入 院	465	481	16
外 来	1,236	1,212	△ 24
(3) 診療収益	19,783,578 千円	20,613,373 千円	829,795 千円
入 院	13,615,824	14,220,991	605,167
外 来	6,167,754	6,392,382	224,628
(4) 1人1日平均収益	42,052 円	43,858 円	1,806 円
入 院	80,051	80,977	926
外 来	20,535	21,714	1,179
(5) 入院患者実人数	13,973 人	14,243 人	270 人
(6) 1人平均入院日数	12.2 日	12.3 日	0.1 日

◎ 多 摩 病 院 (指定管理者 報告値)

区 分	令和5年度	令和6年度	増 減
(1) 患者延数	298,154 人	321,395 人	23,241 人
入 院	100,023	108,790	8,767
外 来	198,131	212,605	14,474
(2) 1日平均患者数	1,012 人	1,088 人	76 人
入 院	273	298	25
外 来	739	790	51
(3) 診療収益	9,557,404 千円	10,407,987 千円	850,583 千円
入 院	6,574,016	7,199,008	624,992
外 来	2,983,388	3,208,979	225,591
(4) 1人1日平均収益	32,055 円	32,384 円	329 円
入 院	65,725	66,173	448
外 来	15,058	15,094	36
(5) 入院患者実人数	8,632 人	9,447 人	815 人
(6) 1人平均入院日数	11.6 日	11.5 日	△ 0.1 日

井 田 病 院

区 分	令和5年度	令和6年度	増 減
(1) 患者延数	237,313 人	231,292 人	△ 6,021 人
入 院	97,329	102,968	5,639
外 来	139,984	128,324	△ 11,660
(2) 1日平均患者数	842 人	810 人	△ 32 人
入 院	266	282	16
外 来	576	528	△ 48
(3) 診療収益	7,585,167 千円	7,737,521 千円	152,354 千円
入 院	4,940,873	5,339,801	398,928
外 来	2,644,294	2,397,720	△ 246,574
(4) 1人1日平均収益	31,963 円	33,453 円	1,490 円
入 院	50,765	51,859	1,094
外 来	18,890	18,685	△ 205
(5) 入院患者実人数	5,885 人	6,116 人	231 人
(6) 1人平均入院日数	16.5 日	16.8 日	0.3 日

※ 多摩病院は利用料金制を適用しているため、診療収益は市病院事業会計の決算に含まれておりません。

4 経営状況比較年次表

(令和6年度決算)

(税抜き)

(単位:千円、%)

◎ 病院事業合計

区 分	令 和 4 年 度			令 和 5 年 度			令 和 6 年 度		
	決 算 額	前 年 度 比 較		決 算 額	前 年 度 比 較		決 算 額	前 年 度 比 較	
		増 減 額	率		増 減 額	率		増 減 額	率
病 院 事 業 収 益 (1)	37,748,660	△ 2,278,453	△ 5.7	36,205,590	△ 1,543,070	△ 4.1	37,328,864	1,123,274	3.1
(一 般 会 計 繰 入 金)	(5,884,230)	(△ 66,155)	(△ 1.1)	(5,826,720)	(△ 57,510)	(△ 1.0)	(5,945,718)	(118,998)	(2.0)
医 業 収 益 ①	29,198,219	2,002,176	7.4	30,518,820	1,320,601	4.5	31,430,521	911,701	3.0
診 療 収 益	26,127,884	1,801,953	7.4	27,368,745	1,240,861	4.7	28,350,894	982,149	3.6
入 院 収 益	17,714,328	1,147,283	6.9	18,556,697	842,369	4.8	19,560,792	1,004,095	5.4
外 来 収 益	8,413,556	654,670	8.4	8,812,048	398,492	4.7	8,790,102	△ 21,946	△ 0.2
その他医業収益	3,070,335	200,223	7.0	3,150,075	79,740	2.6	3,079,627	△ 70,448	△ 2.2
医 業 外 収 益 ②	5,095,836	△ 1,236,302	△ 19.5	5,038,251	△ 57,585	△ 1.1	5,415,072	376,821	7.5
特 別 利 益 ③	3,454,605	△ 3,044,327	△ 46.8	648,519	△ 2,806,086	△ 81.2	483,271	△ 165,248	△ 25.5

病 院 事 業 費 用 (2)	36,427,421	1,815,456	5.2	36,997,767	570,346	1.6	40,443,082	3,445,315	9.3
医 業 費 用 ④	34,158,934	1,731,334	5.3	34,771,898	612,964	1.8	38,101,847	3,329,949	9.6
給 与 費	16,569,074	446,414	2.8	16,628,886	59,812	0.4	18,731,222	2,102,336	12.6
材 料 費	7,535,844	695,551	10.2	7,955,245	419,401	5.6	8,475,082	519,837	6.5
経 費	7,163,238	588,829	9.0	7,405,906	242,668	3.4	7,835,153	429,247	5.8
そ の 他	2,890,778	540	0.0	2,781,861	△ 108,917	△ 3.8	3,060,390	278,529	10.0
医 業 外 費 用 ⑤	1,977,449	69,741	3.7	1,993,050	15,601	0.8	2,038,928	45,878	2.3
特 別 損 失 ⑥	291,038	14,381	5.2	232,819	△ 58,219	△ 20.0	302,307	69,488	29.8

区 分	令 和 4 年 度			令 和 5 年 度			令 和 6 年 度		
	決 算 額	前 年 度 比 較		決 算 額	前 年 度 比 較		決 算 額	前 年 度 比 較	
		増 減 額	率		増 減 額	率		増 減 額	率
医 業 損 益 ①-④	△ 4,960,715	270,842	5.2	△ 4,253,078	707,637	14.3	△ 6,671,326	△ 2,418,248	△ 56.9

経 常 損 益 (①+②)-(④+⑤)	△ 1,842,328	△ 1,035,201	△ 128.3	△ 1,207,877	634,451	34.4	△ 3,295,182	△ 2,087,305	△ 172.8
川 崎 病 院	△ 307,771	△ 760,161	△ 168.0	△ 4,320	303,451	98.6	△ 1,858,408	△ 1,854,088	△ 42,918.7
井 田 病 院	△ 1,878,424	△ 412,284	△ 28.1	△ 1,586,531	291,893	15.5	△ 1,883,927	△ 297,396	△ 18.7
多 摩 病 院	343,867	137,244	66.4	382,974	39,107	11.4	447,153	64,179	16.8

純 損 益 (1)-(2)	1,321,239	△ 4,093,909	△ 75.6	△ 792,177	△ 2,113,416	△ 160.0	△ 3,114,218	△ 2,322,041	△ 293.1
川 崎 病 院	1,305,343	△ 2,549,934	△ 66.1	△ 77,580	△ 1,382,923	△ 105.9	△ 2,076,549	△ 1,998,969	△ 2,576.7
井 田 病 院	△ 667,419	△ 1,932,465	△ 152.8	△ 1,460,694	△ 793,275	△ 118.9	△ 1,842,710	△ 382,016	△ 26.2
多 摩 病 院	683,315	388,491	131.8	746,097	62,782	9.2	805,041	58,944	7.9

そ の 他 未 処 分 利 益 剰 余 金 変 動 額 (※)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-----------------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---

未 処 分 利 益 剰 余 金 (△ 未 処 理 欠 損 金)	△ 15,538,507	1,321,239	7.8	△ 16,330,684	△ 792,177	△ 5.1	△ 19,444,902	△ 3,114,218	△ 19.1
-----------------------------------	--------------	-----------	-----	--------------	-----------	-------	--------------	-------------	--------

5 決算総括表

(令和6年度決算)

(税込み)

(1) 予算執行状況

(単位:円)

ア 収入

科 目	予 算 額	決 算 額	増 △減
1.収益的収入	39,423,825,000	37,486,412,296	△ 1,937,412,704
2.資本的収入	7,462,708,000	4,178,814,666	△ 3,283,893,334
合 計	46,886,533,000	41,665,226,962	△ 5,221,306,038

イ 支出

科 目	予 算 額	決 算 額	増 △減
1.収益的支出	41,712,621,000	40,562,643,718	△ 1,149,977,282
2.資本的支出	10,237,309,700	6,920,757,556	△ 3,316,552,144
合 計	51,949,930,700	47,483,401,274	△ 4,466,529,426

(2) 収益的収支・資本的収支

ア 収益的収支

区 分	収 入	支 出	収 支 差 引 (A)
収益的収支	37,486,412,296	40,562,643,718	△ 3,076,231,422

イ 資本的収支

区 分	収 入	支 出	収 支 差 引 (B)
資本的収支	4,178,814,666	6,920,757,556	△ 2,741,942,890

(3) 収支差引不足額に対する財源措置の状況

項 目	金 額	内 訳
①当年度分損益勘定留保資金	1,892,983,915	減価償却費 2,935,536,330 過年度損益修正損 14,821,361 固定資産除却費 54,261,777 退職給付引当金 218,358,400 退職給付引当金戻入益 △ 3,456,720 長期前受金戻入 △ 1,326,537,233
②繰越工事資金	96,020,000	過年度繰越工事資金 262,320,000 翌年度繰越工事資金 △ 166,300,000
③当年度未発行企業債	169,225,482	
④貯蔵品仮払消費税仕入控除額	△ 28,067,335	
合 計 (C)	2,130,162,062	
収支差引額に対する財源過不足額 (A) + (B) + (C)	△ 3,688,012,250	収益的収支 (A) △ 3,076,231,422 資本的収支 (B) △ 2,741,942,890 補填財源等 (C) 2,130,162,062

(4) 累積財源過不足額

前年度末財源余剰額	6,660,842,887
当年度末財源余剰額	2,972,830,637

6 財政健全化法における資金不足比率の状況

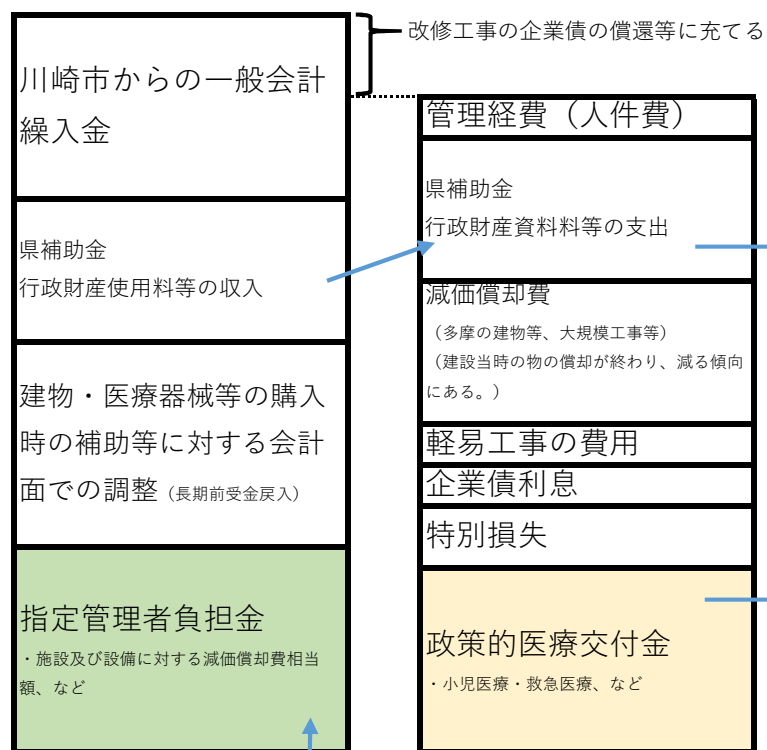
資金不足比率	経営健全化基準
— (資金不足となっていない)	20%

資金不足比率＝資金不足額÷事業規模（医業収益）

川崎市病院事業会計のうち「多摩病院」関連収益的収支

収入要素

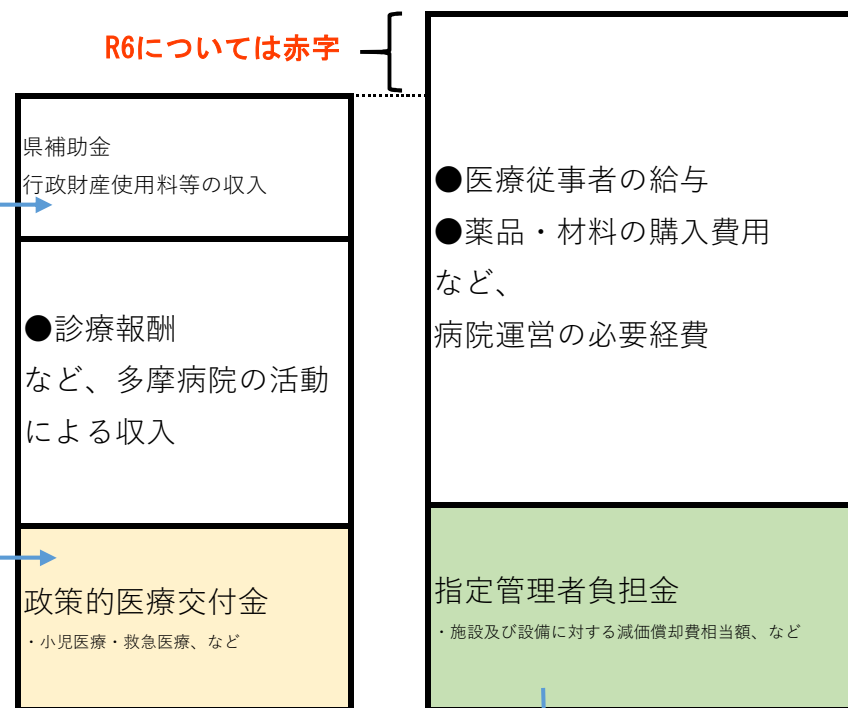
支出要素



「多摩病院」の収益的収支

収入要素

支出要素



※ 本内容はあくまで概要のイメージです。

※ 「川崎市立多摩病院の管理運営に関する基本協定」に基づき、多摩病院は市の多摩病院に係る費用に充てるための負担金として、市に「指定管理者負担金」を支払い、政策的医療として、市が定める医療機能の提供により収支不足が生じる場合、その不足分を政策的医療交付金として、市は予算の範囲内で指定管理者に交付することとしています。

※ このイメージ図の他、病院事業会計には「資本的収支」もありますが、省略しております。